**５年　「米づくりのさかんな地域　」　（　８～９月　８時間　）**

**（１）小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容（２）ア－（イ）（ウ），イ－（イ）に基づいて行う

我が国の米の生産は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていること，自然環境と深いかかわりを持って営まれていることや，米の生産に従事している人々の工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解し，国民生活を支える米の生産の発展を考えようとしている。

**（２）評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ･米の生産に従事している人の工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ運輸の働きについて必要な情報を集め，米の生産が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。･地図帳や資料で調べたことをまとめている。 | ･米の生産の過程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などに着目して米の生産に関わる人々の工夫や努力について考えている。･米の生産に関わる人々の工夫や努力に関する内容について関連付けて考え，学習したことを基に，社会への関わり方を選択・判断し，文章等で表現している。 | ･我が国の米の生産について，学習計画を基に予想を立て，地図帳や各種資料等を活用し，主体的に学習し，課題を解決しようとする。･学習したことを基に，我が国のこれからの米の生産の発展について考えようとしている。 |

**（３）知識の構造図**

**中心概念**

我が国の食料生産の中心をなす稲作の主要な産地である仙台平野では，自然条件に合わせ，携わる人々の工夫や努力を生かして米を生産している。❽

　**具体的知識**

・稲作農家では米の消費量の減少や後継者不足問題を抱えながら、解決に向けて取り組んでいる。　　　　　　　❼

・カントリーエレベーターや運輸の働きにより、品質を保ちながら米を早く全国の消費地へ届けることができる。　❻

　・稲作の盛んな仙台平野は、広い水田、肥よくな耕土、豊富な水、寒暖差のある夏の気候など、米づくりに適した自然環境がそろっている。　　　　　　　　 ❸

・稲作農家の人々は、種まきから収穫まで

の稲の成長に合わせて工夫や努力を重ねている。　　　　　　　　　　　 ❹

　・ＪＡや農業試験場など、地域には米づくりを支える様々なしくみがあり、機械化や共同化など地域で協力し、生産の効率を高めている。 　　　　　　　　　❺

　・仙台平野は、広い平野を利用して米作りを行っている日本有数の米の産地である。　　　　 　　　　　　　　　❶❷

・品種改良

・農業協同組合

・農業試験場

・専業農家

・兼業農家

・種もみ

・生産調整

・転作

・後継者問題

・土地利用図

・肥よくな耕土

・日照時間

・カントリーエレベーター

・食料基地

・トレーサビリティ

・仙台平野

・ほ場整備

**用語・語句**

**問題解決的な学習の過程**

**つかむ**

**調べる**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 　　　　　主発問　　　　　主な学習活動・内容 | 　　　□指導上の留意点☆評価計画 | 資料 |
| 　　学習問題をつかむ（２時間） | ふだん食べている米や稲作の盛んな地域の米づくりに関する資料を見て話し合い，学習問題を作りましょう。❶　　①米の包装などを持ち寄り，米の品種や県内の米の生産地について発表する。②米作りが盛んな地域の写真や地図を読み取り，気づいたことや分かったことを発表し，学習問題を作る。**学習問題**米づくりをしている人々は，どのようにしてよりよい米を生産し，消費者に届けているのでしょうか。 | □事前に米の包装などの県内産の米に関する資料を集めておく。また，宮城県の地形図や行政図で県内の産地を確認させる。□仙台平野の扱いについては，あくまでも全国的に米の生産が盛んな地域の一例として，身近であることから取り上げるものとする。 | ・米の袋・県地図・写真（「わたしたちの宮城県」） |
| 　学習問題について予想し，学習計画を立てましょう。❷①米作りの盛んな地域で，そのわけや稲作農家の工夫を予想し，学習計画を話し合う。［調べること］・地形や気候　・働く人の工夫　・地域での協力・農家を支える仕組み　・消費地に届くまで・米づくりが抱える課題 | □前時の資料や写真を使い，仙台平野で米づくりが盛んなわけや稲作農家の工夫を具体的に予想させる。☆我が国の米の生産について，学習計画を基に予想を立て，地図帳や各種資料等を活用し，主体的に学習し，課題を解決しようとする。《主体的に学習に取り組む態度》 | ・「わたしたちの宮城県」 |
| 　　　　　　　　学習問題について調べる（５時間）…　見学❹❺　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | 　米作りの盛んな地域はどうして米作りに適しているのでしょうか。❸①写真や地図，資料をもとに米づくりと自然環境とのかかわりについて話し合う。　稲作の盛んな仙台平野は，広い土地，肥よくな耕土，豊富な水，寒暖差のある夏の気候など，米づくりに適した自然環境がそろっている。 | □雨温図やほ場整備の写真，仙台藩の新田開発などの資料から，米づくりに適した自然環境にするための人々の努力にも気づかせる。☆資料を活用して，米づくりに適した自然条件や人々の努力について必要な情報を集め，読み取っている。《知識及び技能》 | ・雨温図・写真・Webページ「食材王国みやぎ」 |
| 　米作りの盛んな地域での米づくりにはどんな工夫があるでしょうか。❹①見学メモをもとに稲作農家の人にインタビューをし，仕事の内容や工夫を調べる。稲作農家の人々は，種まきから収穫までの稲の成長に合わせて工夫や努力を重ねている。②多くのお客さんに来てもらう工夫について考える。 | □「まなび方コーナー」を活用して，　農作業暦をもとにした見学メモを作り，聞き取った工夫や努力を書き込ませる。☆見学メモに基づいて稲作農家の人にインタビューし，農作業暦に沿って工夫や努力をしていることに気付いてまとめている。《知識及び技能》 | ・見学メモ・農作業暦・Webページ「角田市ふるさと安心米生産組合協議会」 |
| 　稲作農家の人々は，よりよい米づくりのためにどのように協力し，また，農家を支える仕組みはどうなっているのでしょうか。❺①協力して米づくりを行っている様子や，農業協同組合（ＪＡ）や古川農業試験場などが，どのように稲作農家の人々を支えているか調べる。　ＪＡや農業試験場など，地域には米づくりを支える様々なしくみがあり，仙台平野の人々は，機械化や共同化など地域で協力し，生産の効率を高めている。 | □高額な機械や，水の管理など，農家同士の協力が不可欠であることに気付かせる。□資料などから米づくりの発展への取組が昔から続いていることにも気付けるようにする。☆仙台平野の稲作農家が作業の効率化や技術の継承・向上のために，機械化や共同化に取り組み，研究機関と協力し合っていることに気付いてまとめている。《知識及び技能》 | ・見学メモ・要覧「ようこそ古川農業試験場へ」 |
| 主発問主な学習活動･内容 | □指導上の留意点☆評価計画 | 資料 |
| 　米はどのように消費者へ届けられるのでしょうか。❻①米が消費者に届くまでの様子を調べ，運輸の働きや米づくりにかかわる費用や価格について話し合う。　カントリーエレベーターや運輸の働きにより，品質を保ちながら米を早く全国の消費地へ届けることができる。 | □仙台平野の米の送り先と日本の交通網を関連付けて読み取らせ，運輸の働きが重要であることに気付けるようにする。☆カントリ―エレベーターの工夫や運輸の働きによって生産地と消費地が結ばれていることを理解している。《知識及び技能》 | ・Webぺ　ージ「あ　したの元　気！宮城　米」「宮城県公　式ウェブサイト」 |
|  | 　稲作農家の人々は，どのような問題をかかえているのでしょうか。❼①資料から稲作農家のかかえている問題を読み取り，これからの米づくりについて自分が考えたことを伝え合う。稲作農家では米の消費量の減少や後継者不足問題を抱えながら，解決に向けて取り組んでいる。 | □稲作農家のかかえる問題に着目させ，これまで調べてきたことをもとに「まなび方コーナー」を活用して「これからの米づくり」を提案させる。☆米づくりがかかえる問題から，今後の発展のために消費量を増やすことや，そのための取組について考え，適切に表現している。《思考力・判断力・表現力》 | ・教科書の統計資料 |
| 学習問題をまとめる（１時間） | 　調べたことをもとに，学習問題について考えをまとめましょう。❽①稲作農家の工夫や努力についてこれまで調べたことを整理し，学習問題について話し合う。②学習のまとめとして宮城米のよさをPRする文を書くことを確認する。　わが国の食料生産の中心をなす稲作が盛んな地域では，自然条件に合わせ，携わる人々の工夫や努力を生かして米を生産している。 | □学習計画で立てた内容と照らし合わせながらメモやノートを生かせるようにする。☆これまでの学習をもとに，仙台平野の米づくりは自然環境と深いかかわりがあり，人々が生産を高めるために工夫や努力をしていることを理解している。《知識及び技能》 | ・見学メモ・写真・これまでの板書記録 |

学

習

問

題

に

つ

い

て

調

べ

る

学習

過程

**（５）ワークシート**

ポイント

①見学メモ

|  |  |
| --- | --- |
| 月 | ３月　　４月　　５月　　６月　　７月　　８月　　９月　　１０月 |
| 農作業 | ・・たい肥づくり・もみすり・かんそう・稲かり、脱穀・穂が出る・農薬をまく・みぞをほる・生育調査・水の管理・除草剤をまく・田植え・代かき・種まき・田おこし・たい肥をまく・作業計画・種もみを選定 |
| ・農家の工夫・地域の協力 | ・農薬や化学肥料を減らせる。・カントリーエレベーターで保存する。・大型機械を使う。・生育に合わせ分担し　ながら作業する。・じょうぶな稲になる。・定期的に行う。・稲刈りまで続ける。・大型機械を使い協力して行う。・土の栄養分を高める。 |

農作業暦をもとにした見学メモを作成

し，聞き取った作業内容や工夫，協力などを記録させ，見学後の学習に生かせるようにする。

②米づくりへの提案

ポイント

・米づくりで問題となっていること

・課題の背景や理由

・わたしの提案

　稲作農家が抱えている問題の解決について考えたことを「提案」として「米づくり事典」に盛り込み、自分たちの生活との関わりに気付かせるようにする。